

平成30年9月14日
農林水産部畜産振興課

粗飼料（稲ホールクロップサイレージ）の放射性物質調査の結果について

県内で採取した稲ホールクロップサイレージについて放射性物質調査を実施したところ、次のとおり結果が判明しましたのでお知らせします。

1 調査結果

品目	採取地域	採取日	検査日	調査結果(ベクレル/kg)		
				放射性セシウム		
				セシウム 134	セシウム 137	セシウム合計
稲ホールクロップサイレージ	村山地域(上山市)	9月14日	9月14日	不検出 (<4.2)	不検出 (<4.6)	不検出
〃	最上地域(新庄市)	9月14日	9月14日	不検出 (<6.1)	不検出 (<5.5)	不検出
〃	置賜地域(川西町)	9月14日	9月14日	不検出 (<7.7)	不検出 (<5.1)	不検出
〃	庄内地域(酒田市)	9月14日	9月14日	不検出 (<9.5)	不検出 (<6.6)	不検出
牛用飼料の暫定許容値						100

- ※ 1 検査機関：村山・最上・置賜は日本環境科学株式会社、庄内は株式会社理研分析センター
 2 検査結果の () 内は、検出下限値
 注) 「不検出」とは、放射性物質が検出下限値未満であることを示します。
 「検出下限値」とは、検査機器で測定できる最小の値のことです。

2 県の対応

4 地域の結果はいずれも不検出であり、県内一円において、稲ホールクロップサイレージの利用を例年どおり指導していきます。

【問い合わせ先】
 農林水産部畜産振興課
 課長補佐(畜産生産基盤担当) 深瀬庸之
 TEL 023-630-3350
 [報道監]
 農林水産部次長 高橋雅史